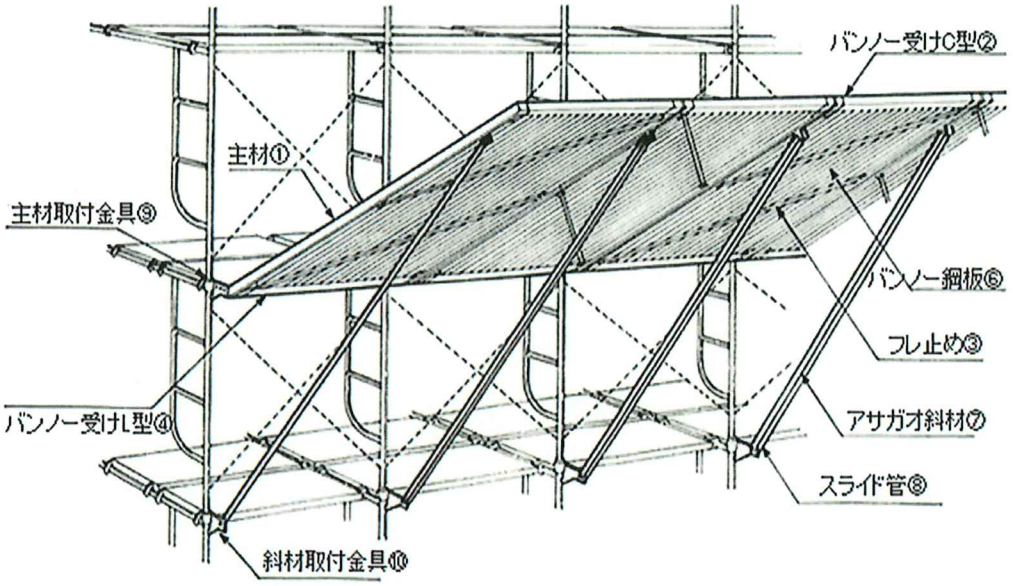
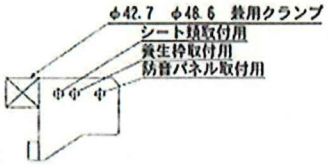
直線部



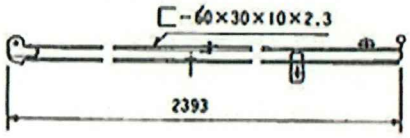
直線部部材数量（1スパン当り）

品　名	No.	備　考	数量
アサガオ主材セット	①	アサガオ主材右	1
	①	アサガオ主材左	1
	⑦	アサガオ斜材	2
	⑧	スライド管	2
	⑨	主材取付金具(上支用)	1
	⑩	斜材取付金具(下支用)	1
フレ止め	③	グラビティ付	2
バンノー受C型	②		1
バンノー受L型	④		1
バンノー押え	⑤		1
バンノー鋼板	⑥		6
1スパン　1800mm　107kg			
BN1/2×38		ボルトナット	2
BN1/2×65		ボルトナット	2

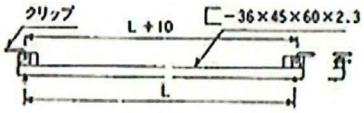
主材取付金具の穴位置



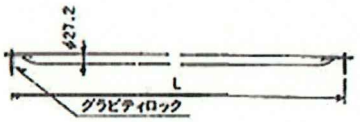
品名	品番	重量(kg)
アサガオ主材左	OA2390L	7.53
アサガオ主材右	OA2391R	7.53



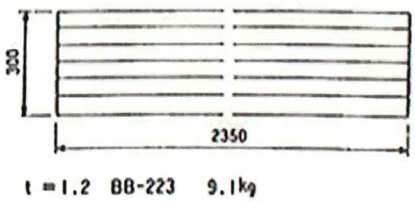
品名	品番	重量(kg)
C型 1800	OAD2318D	4.93
C型 1500	OAD2315D	4.21
C型 1200	OAD2312D	3.49
C型 900	OAD2309D	2.77
C型 600	OAD2306D	20.5



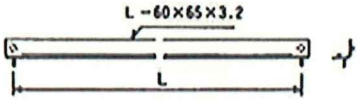
品名	品番	重量(kg)
フレ止め 1800	OA2318C	2.65
フレ止め 1500	OA2315C	2.34
フレ止め 1200	OA2312C	2.03
フレ止め 900	OA2309C	1.72
フレ止め 600	OA2306C	1.41



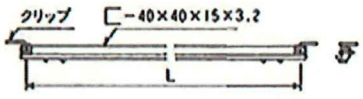
品名	品番	重量(kg)
バンノー鋼板	BB223	9.09



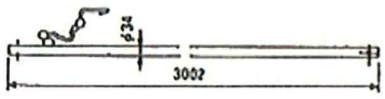
品名	品番	重量(kg)
L型 1800	OA2318A	6.58
L型 1500	OA2315A	5.43
L型 1200	OA2312A	4.30
L型 900	OA2309A	3.17
L型 600	OA2306A	2.04



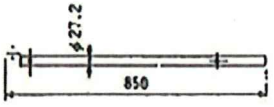
品名	品番	重量(kg)
押え 1800	OA2318B	4.37
押え 1500	OA2315B	3.75
押え 1200	OA2312B	3.13
押え 900	OA2309B	2.51
押え 600	OA2306B	1.89



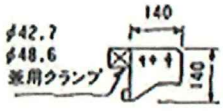
品名	品番	重量(kg)
アサガオ斜材	OA3000S	5.41



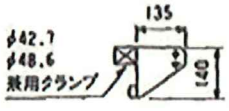
品名	品番	重量(kg)
スライド管	OA08S	1.2



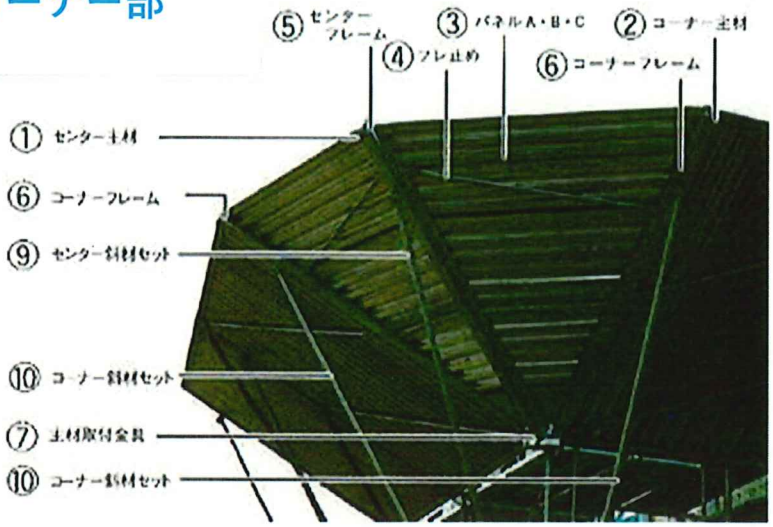
品名	品番	重量(kg)
主材金具	OAUK	1.15



品名	品番	重量(kg)
斜材金具	OAPK	1.15



コーナー部

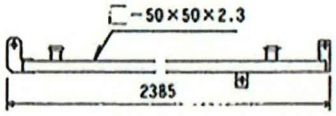


コーナー部部材数量（1セット当り）

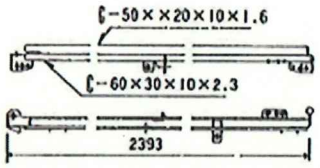
No.	品名	数量	備考
①	センター主材	1	
②	コーナー主材	各1	左用・右用有り
③	パネル	各2	A・B・C有り
④	フレ止め	2	グラビティロック付
⑤	センターフレーム	各1	左用・右用有り
⑥	コーナーフレーム	各1	左用・右用有り
⑦	主材取付金具	1	
⑧	斜材取付金具	1	
⑨	センター斜材	1	
⑩	コーナー斜材	2	
⑪	センタースライド管	1	
⑫	コーナースライド管	2	
	BN½×38	10	ボルトナット
	BN½×65	5	
	BN½×75	2	
	BN⅜×100	2	

重量（1セット当り）
144.2kg

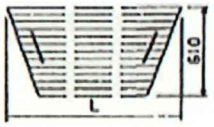
品名	品番	重量(kg)
センター主材	OAC2380	9.67



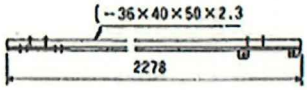
品名	品番	重量(kg)
コーナー主材左	OAC2390L	10.08
コーナー主材右	OAC2390R	10.08



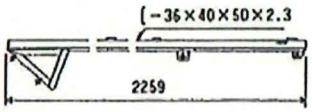
品名	品番	L(mm)	重量(kg)
パネルA	OAC207A	735	4.8
パネルB	OAC211B	1185	8.7
パネルC	OAC216C	1635	12.8



品名	品番	重量(kg)
センターフレーム左	OAC23EL	5.64
センターフレーム右	OAC23ER	5.64

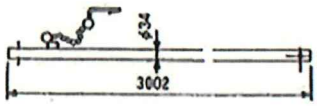


品名	品番	重量(kg)
コーナーフレーム左	OAC23FL	7.0
コーナーフレーム右	OAC23FR	7.0

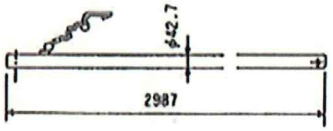


品名	品番	重量(kg)
コーナーフレ止め	OAC23C	1.27

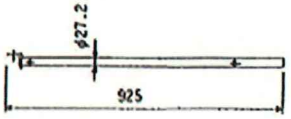
品名	品番	重量(kg)
センター斜材	OA3000SC	5.41



品名	品番	重量(kg)
コーナー斜材	OAC2980S	7.14

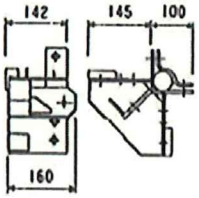


品名	品番	重量(kg)
センタースライド管	OAC09S	1.2

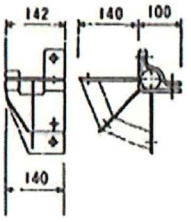


品名	品番	重量(kg)
コーナースライド管	OAC08S	5.41

品名	品番	重量(kg)
コーナー主材金具	OACUK	5.41



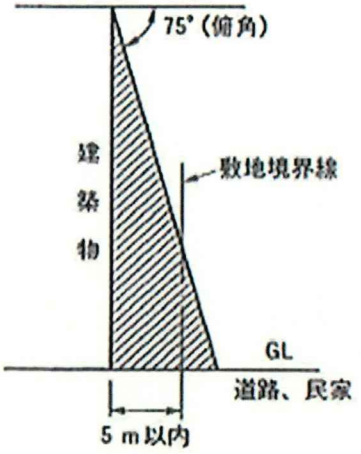
品名	品番	重量(kg)
コーナー斜材金具	OACPK	5.41

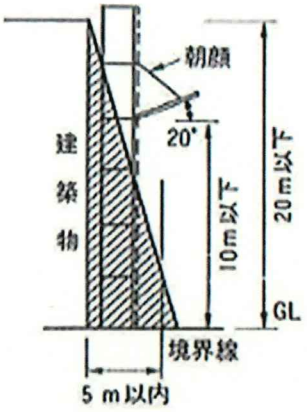


ＳＫアサガオ　養生材

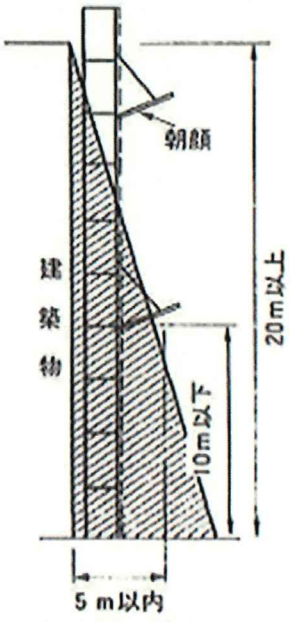
設置基準

1．原則として朝顔を設置する場合は、作業が行われる場所から、ふ角75°を超える範囲に隣家、道路等がある場合、朝顔を取りつける。
2．原則として朝顔を設置する場合、作業が行われる場所が地上より20m以下の場合は１段、20mを超える時は２段朝顔を設ける。
ただし、最下段（１段目）の朝顔は地上10m以内に設ける、また、作業が行われる場所が20mを超える場合で、わく付養生金網、シート等を併用し飛来落下を十分防止できる場合は下段のみでよい。
3．足場の外側より水平距離で２m以上の出のある歩道防護構台を設けた場合は最下段の朝顔にかえることができる。
4．作業の状態により、わく付養生金網、金網、シート等で完全に養生し飛来落下の危険性がない場合は朝顔を省略できる。

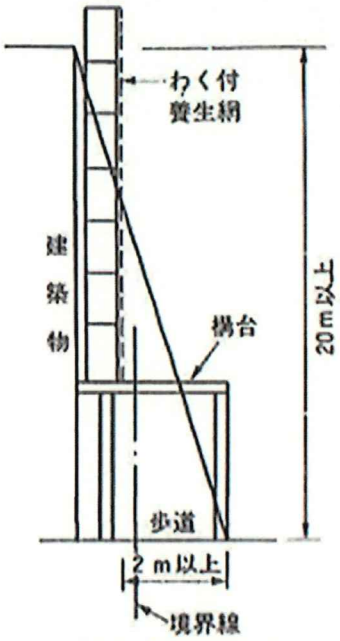




20m以下の場合



20m以上の場合



防護構台設置の場合

■使用上の注意

・ＳＫアサガオ取付部は必ず上下２スパン毎に壁つなぎを取ってください。

落下衝撃に対する安全性は下表の通りで耐衝撃性に優れています。

落下物 / 種類	パイプφ48.6 ℓ=2.5m（7.0kg）	アングル75×75×6 ℓ=1.5m（9.9kg）	コンクリートブロック（120kg）
バンノー鋼板 Ⅱ型 t=1.2（BB-223）	●落下箇所に凹み発生 ●貫通せず	●落下箇所に凹み発生 ●貫通せず	●落下箇所に凹み発生 ●貫通せず

試験場所……（社）仮設工業会　●設置角度25°　●落下高さ11.5m